

## ナシ改植マニュアルー1

### 老木園の問題点

「幸水」は樹齢30年を過ぎると、樹勢の低下による果実肥大の不良や収量の低下が見られるようになる。

樹齢による果実肥大や新梢の伸びを比較すると、老木園(樹齢30年)は新植園(樹齢10年)や改植園(樹齢10年)に比べて果実肥大が劣り、発育枝の伸長も不十分である。

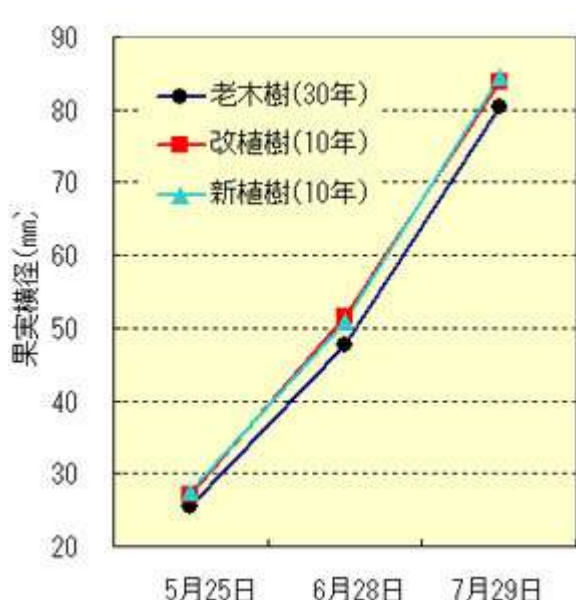


図1 幸水の改植と果実肥大

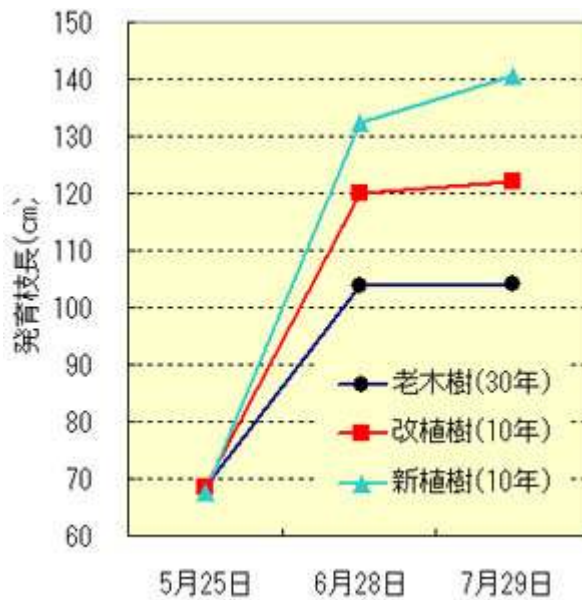


図2 幸水の改植と新梢伸長

また、萎縮病による収量の低下や主枝の枯れ込みなどが発生することも多くな。幸水では樹齢25年頃から計画的に改植を進める必要がある。



図3 萎縮病の症状



図4 萎縮病樹の主枝の枯れ込み

問い合わせ先 徳島県果樹研究所県北分場 TEL088-694-2712、FAX088-694-2526

[ホームページへ](#)